

結果表・請求書について

- Q** 結果はいつ頃わかりますか。
- A** ご本人様には2~3週間で郵送しております。なお、実施した検査内容によっては、若干遅れのあることもございます。
- Q** 事業主（会社）にも結果を送って欲しいのですが。
- A** 事業主様が健診費用を負担される場合は、月末締め翌月10日頃に結果表と請求書を送付させていただきます。健診費用を受診者ご本人が負担される場合は、事業主様への結果表送付は出来かねます。
- Q** 健診費用の支払いは受診者本人がしますが、領収書は会社名にしてください。
- A** 領収書のお名前は、お支払いしたご本人様となります。会社名での発行は出来かねます。
- Q** 費用は全て事業主（会社）が支払うので、お金は持っていかなくても良いですか。
- A** 健康診断の費用とは別に、ご本人様にご請求する料金が発生することがあります。例えば、胃内視鏡の際に何らかの疑いのある組織を採取（生検）したときや、健診中に具合が悪くなり受診したときなどは保険診療となりますので、健康診断費用とは別にご本人へご請求いたします。

胃検査について

- Q** 胃バリウムと胃内視鏡等、どちらを選んで良いか分かりません。
- A** 胃透視はバリウムを用いてX線撮影する検査です。胃内視鏡検査は直接内視鏡で観察するため、より正確に内部の粘膜の状況を確認することができます。別紙の「胃の検査選択方法（胃カメラ・胃バリウム）」を参照してください。
- Q** 健診日に「糖尿病薬」を使用してしまい、胃検査ができませんでした。胃検査のみ別日で実施できますか。
- A** 糖尿病薬を使用した場合は「健康診断」のすべてがキャンセルとなりますのでご承知願います。

子宮頸がん検診・乳がん検診について

- Q** 若くても子宮頸がん検診をしなくてはいけませんか。
- A** 子宮頸がんの原因は、ほぼ100%がヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染です。粘膜の接触（性交渉）により感染するごくありふれたウイルスで、全ての女性の約80%が一生に一度は感染しています。子宮頸がんは20歳から30歳代に急激に増える「がん」ですので、若くても検査することをお勧めしています。なお、性交経験のない方や子宮頸部を摘出している方、治療中の方への検査は不要ですので、一概に女性全員を対象にする必要はありません。
- Q** 妊娠中・授乳中でも子宮頸がん検診や乳がん検診はできますか。
- A** 妊娠中の場合は、子宮頸がん検診・乳がん検診ともに実施はしておりません。また、授乳中の方への乳がん検診も実施しておりません。

その他

- Q** 受付時間より早く行ったら、早く健診してもらえますか。
- A** 利用者様それぞれの検査内容により受付時間をずらしてご案内しておりますので、来院順にはお呼びしておりません。また、当院では診療（入院・外来）も同時進行しておりますので、重症の方を優先に検査を行います。なるべく待ち時間が短くなるよう努力しておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。
- Q** 風邪を引いたようで体調不良ですが検査を受けられますか。
- A** 検査結果に影響がでる可能性があることと、院内感染防止の観点からお受けすることはできません。キャンセルか日程変更のご相談をさせていただきます。
- Q** お腹が痛い、頭痛がするなどの症状がある場合は詳しく診てもらえますか。
- A** 健康診断では症状にあわせた検査をすることができません。症状がある場合は、外来にて医師の診察を受けてください。
- Q** 子どもを見てくれる人がいません。健診当日に一緒に行ってもよいですか？
- A** 感染予防および安全面の観点から、お子様連れでのご受診はご遠慮いただいております。